

# GW明けの ある日...

「ねらい」

- ・ 空気のおもちゃ作りを通して  
空気への興味・関心を  
深める。
- ・ 友だちの遊びに興味を  
持ち、友だちと一緒に  
夢中になり、遊び込む。



綿毛から始まり、お風呂の実験などを  
通じて空気に興味を持ち始めた青い。  
も、と空気を身近に感じてもらおうと  
部屋の端にプロジェクトコーナーを設けました。  
ある日、2人のお友だちが興味を持ち始め、  
本を見ながら先生とおぼけのおもちゃをつくりました。翌日、サークルタイムで  
作ったおもちゃを発表してもらおうと...

「ねむも作りたー!!」「おもしろい!!」の声が続出! その日のお昼すぎに

1人作り始めると、たちまちプロジェクトコーナーは満員の

そこの「おぼけ、皆で作ろうか」ということになりました。



自分曼げに遊んでいます

いいなあ...  
早くねむも  
作りたー!!

作って遊んでいるお友だちに声を掛けたり、  
うらやまそうに見る子どももいて、待ち遠しい  
ようでした。

## 翌日

「早く作りたー!!」「ぼくのは  
まだ?」と、朝から待ちどわしい  
子どもたち。サークルタイムの時間  
になり、いよいよスタートです!

まずは、袋と紙コップに  
自由に絵を描きます。

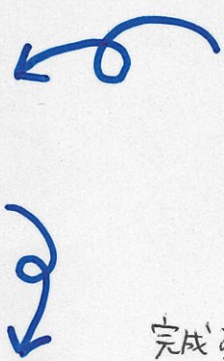
「ぼくはおぼけにしよう!」



「ママ! (描いたよ)」



描けた子から先生にテープで  
ストローと袋をくっつけてもらい...



完成すると、「見て見て!」と友だちと  
見せあい、こもれび、  
「せーの! ぶらぶらまろく!」  
「せーの! フー~~~~」と、  
一緒に楽しんでいました。  
また、「膨らむぞろ!」「空気が  
入ってる!」(コップに空気を)

「あ、たかくなってきたよ」  
感じにこもれびを先生、  
友だちに話や安や、壊れたら  
何度も修理をして繰り返して  
膨らませたり持ったりする日まで  
存分に楽しんで青いさん  
です。



「先生! 見てね」

おぼけ  
デゾー!

